

JSPS Exchange Program for East Asian Young Researchers

「開発のためのアジア学術ネットワークを通じた
国際開発研究の推進と若手研究者能力向上」

*“Building Research Capabilities of Young
Scholars for Asian Development through the
Academic Network for Development in
Asia(ANDA)”*

JENESYS学術フォーラム

2010年8月3日

名古屋大学大学院国際開発研究科

岡田 亜弥

本プロジェクトの目的

- 「開発のためのアジア学術ネットワーク(The Academic Network for Development in Asia: ANDA)」(JSPSアジア・アフリカ学術基盤形成事業の一環として、H20年度に構築)に参加するアジア11カ国11大学のうち、本事業が対象とする8カ国から、若手研究者を同事業の日本側拠点である名古屋大学に招聘し、さまざまな研究交流活動を通じて研究能力向上を図る。
- ANDAが実施する国際共同研究に参加する機会を提供し、参加研究者間の学術交流の推進とANDANETワークの強化・発展を図る。

JSPS アジア・アフリカ学術基盤形成事業(H20-H22) 「グローバル化時代のアジアにおける新たなダイナミズムの胎動と産業人材育成」

1) 国際共同研究・研究者交流

2) 名古屋大学を拠点とするアジア各国大学との学術研究ネットワークの構築・連携強化

- 名古屋大学の学術交流協定校
- 国際学術コンソーシアム(AC21)の参加校など

3) 若手研究者の育成・研究能力の向上

4) 国際フォーラムやセミナーの開催

5) 政策提言

6) 「開発のためのアジア学術ネットワーク」を活かしたアジア域内の国際貢献・支援

ANANDA構築の背景

急速に変化するアジア

- 近年、急成長を遂げるアジアの新興諸国（BRICsやASEAN諸国）；
- 経済グローバル化の進展とアジア域内における地域統合・相互依存の深化；
- アジア諸国を巻き込む新たな国際分業パターン；
- アジア域内の社会経済構造の変動；
- アジア域内における新興諸国と後発途上国との格差の拡大

アジアの新たなダイナミズムの胎動

① 経済グローバル化の進展

② 「世界の工場」から「世界のアウトソーシング拠点」へ

- ◆ 製造業: アジアにおける生産拠点の集積
- ◆ サービス業: オフショアリング業務委託の増大

③ アジアの知識基盤経済化

- ◆ IT産業(ソフトウェア、ハードウェア)、通信、製薬

④ グローバル・バリュー・チェーンの構築

- ◆ アジア諸国を巻き込んだ研究開発、設計、原料・部品調達、生産、物流、販売に至る一連の価値連鎖

⑤ 労働力の国際移動の活発化

- ◆ 労働市場の流動化
- ◆ 知識労働者の国際移動 (mobility of talents)

大学の役割の再考

- アジアにおける新たなダイナミズムが胎動する中、アジアの大学は、アジアの持続的成長と貧困削減に、より積極的な役割を果たすことが期待される。
- グローバルな、また、アジアにおける大学間ネットワークの重要性の高まり—国際共同研究、学術交流、共同イニシアティブ。

Graduate School of International Development (GSID), Nagoya University

- 1991年に、我が国最初の国際開発協力人材（開発プロフェッショナルと開発問題の研究者）を育成するための開発系専門大学院として設立。
- 世界40カ国以上から留学生を受け入れ、英語で国際開発協力コースを提供。
- 10カ国10大学と学術交流協定を締結し、国際共同研究、教員・学生交流、合同フィールド調査など、積極的に学術交流を図ってきた。
- アジアの他の中核的な大学と共同してネットワークを構築し、アジアの持続的な発展に向けて、共に研究し、行動する（research & action）ためのイニシアティブを検討。

Mission

- 1. Developing Human Resources in the field of international development, cooperation and communication: Focus on nurturing “development literacy” and “professional minimum”;
- 2. Pursuing original models of development;
- 3. Forming and developing networks among various academic and research institutions related to international development and cooperation;

Organization

- Department of International Development (DID):
 - Program in Economic Development Policy and Management;
 - Program in Rural and Regional Development Management;
 - Program in Education and Human Resource Development;
- Department of International Cooperation Studies (DICOS):
 - Program in Governance and Law;
 - Program in Peacebuilding;
 - Program in Social Development and Culture;
- Department of International Communication (DICOM):
 - Program in Human Migration and Cross-cultural Understanding;
 - Program in Language Education and Linguistic Information

開発のためのアジア学術ネットワーク
(ANDA)

Chulalongkorn University
(タイ)

Vietnam National University,
Ho Chi Minh City
(ベトナム)

Gadjah Mada
University
(インドネシア)

University of the
Philippines Los Baños
(フィリピン)

Indian Institute of
Technology Bombay
(インド)

名古屋大学
(日本)

Tsinghua University
(中国)

Korea University
(韓国)

Royal University of
Phnom Penh
(カンボジア)

National University of
Laos
(ラオス)

National University of
Singapore
(シンガポール)

(日本)
名古屋大学

11 Core Institutions

Japan	· Graduate School of International Development, Nagoya University
Thailand	· Faculty of Economics and Faculty of Political Science, Chulalongkorn University
Indonesia	· Faculty of Social and Political Science, Gadjah Mada University
India	· Department of Humanities and Social Sciences, Indian Institute of Technology–Bombay
Korea	· Department of Food & Resource Economics, Korea University
Laos	· Faculty of Economics and Management, and Faculty of Law and Political Science, National University of Laos
Singapore	· Department of Business Policy, National University of Singapore
Cambodia	· Graduate Program in Development Studies, Royal University of Phnom Penh
China	· School of Public Policy and Management, Tsinghua University
the Philippines	· Institute of Development Management and Governance, College of Public Affairs, University of the Philippines Los Baños
Vietnam	· School of Humanities & Social Sciences, Vietnam National University, Ho Chi Minh City

1) International Joint Research

R-1: The Impact of Globalization and Changing International Division of Labor on Asian Developing Countries

R-2: Changes in Socio-economic Structures in Asian Late Developing Countries

R-3: Skills Development for Sustainable Economic Development in Asian Late Developing Countries in the Global Age

ANDA's Dual Commitments through Research & Action

Focusing on one of the most pressing issues for development in Asia: skills development

Building and Strengthening an inter-university network, directly committed to the development of Asia

International Joint Research

Multi-disciplinary and multinational research teams

Jointly play a role in intellectual leadership in Asia

ANDA International Seminars

- **The First ANDA International Seminar** in Bangkok (January 23–25, 2009), jointly with the Faculty of Economics, Chulalongkorn University:
 - More than 70 participants from 9 Asian countries;
 - A total of 17 papers presented in 8 academic sessions;
 - 6 doctoral students' presentation in 2 student sessions
- **The Second ANDA International Seminar** in Phnom Penh (January 8–10, 2010), jointly with the Royal University of Phnom Penh;
 - More than 90 participants from 11 Asian countries;
 - A total of 34 papers presented in 10 academic sessions;
 - 10 doctoral students' presentation in 4 student sessions;
- **The Third ANDA International Seminar** to be held in Nagoya in January 2011!

招聘期間と招聘若手研究者

- **招聘期間**: H20年5月9日～5月22日
- **招聘若手研究者**: アジア8カ国から14名 (+2名今後招聘予定)
 - 王立プノンペン大学(**カンボジア**): 2名
 - インド工科大学ボンベイ校(**インド**): 2名
 - ガジャマダ大学(**インドネシア**): 2名 (+2名予定)
 - ラオス工科大学(**ラオス**): 2名
 - フィリピン大学ロスバニョス校(**フィリピン**): 2名 (+1名)
 - シンガポール国立大学(**シンガポール**): 1名
 - チュラロンコン大学(**タイ**): 2名
 - タイ・バック大学(**ベトナム**): 1名

実施プログラム(1)

Day 1 :

- Opening session、
- Campus tour
- Lecture 1 : *Tips for Improving Your Academic Presentations*
- Lecture 2 : *Improving Your Academic Writing Skills*

実施プログラム(2)

- Day 2: Open International Seminar on *the Role of Academic Research in Asian Development*
 - Opening Session
 - Session 1: *Research Activities at Nagoya University*
 - ・ ANDAを通じた国際共同研究の紹介
 - ・ 名大の他の社会科学系部局の研究紹介
 - Session 2: *The Role of Academic Research in Asian Development*
 - ・ 4名の外部講演者 (JICA, 国連大学高等研究所、清華大学、東北大学)
 - ・ 招聘若手研究者との討論

実施プログラム(3)

- Day 3
 - Field visit 1 (トヨタ産業技術記念館、トヨタ工場見学)
- Day 4
 - Field visit 2 (名古屋市ごみ処理工場、藤前干潟、中部職業能力開発促進センター)
- Day 5 & Day 6
 - Field visit 3 (京都のエコツアーリズム: 京都大阪森林管理事務所、清水寺の森林、京都御苑、葵祭)

実施プログラム(4)

- Day 8 ~ Day 11 *Relay Seminar Series*
 - 合計8つのセミナー(招聘若手研究者とGSID博士課程学生がそれぞれ研究発表、教員と他の参加者がコメント)
- Day 12:
 - *Group Work for Synthesis*
 - *Group Presentation*
 - Closing Session

招聘若手研究者に求めたこと

- Participation in all activities during the two-week program;
- Presentation of your research in progress;
- Contribution of a paper to ANDA Discussion Paper Series (to be posted on the ANDA website)

フォローアップと今後の活動予定

- 招聘若手研究者による論文の提出：
 - － →ANDAディスカッション・ペーパーシリーズとしてANDAウェブサイトへの掲載
- 今後の若手研究者育成とANDAを通じた研究計画に関する協議（ベトナム）
- 王立プノンペン大学開発学大学院への継続的支援と若手研究者育成・研究能力強化のための協議（カンボジア）
- 若手研究者能力強化のための合同現地調査（インドネシア）
- ANDAを通じた国際共同研究の継続と発展
- 第3回ANDA国際セミナーの開催（名古屋大学、2011年3月5－7日）

JSPSアジア・アフリカ学術基盤形成事業(H21-H23年度)

●今後の展望

- 1. 「開発のためのアジア学術ネットワーク(The Academic Network for Development in Asia: ANDA)の強化・発展
- 2. 国際セミナーの開催:
 - 第3回ANDA国際セミナー(H22年度、名古屋)開催
- 3. 成果の公表:
 - 英文叢書(全3巻)の出版を計画
- 4. ANDAホームページの充実・活用
 - ANDAディスカッション・ペーパーのWeb掲載
 - ANDAフォーラムの活用

ANDAウェブサイトでの活動内容 の公開

URL: <http://www2.gsid.nagoya-u.ac.jp/blog/anda/>

大学の国際化 最前線

Academic Network for Development in Asia : ANDA アジア初！大学間の開発系研究ネットワーク

“線”の交流から“面”の連携へ

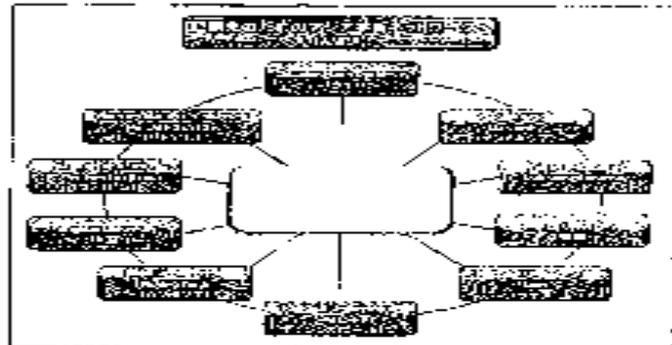
急速な経済発展を続けるアジア地域、多様な産業への投資が進み、中国やインドなどの新興国が勢いを増す一方で、カンボジアやラオスなど開発開発途上国も存在する。名古屋大学大学院国際開発研究科では、日本学術振興会(JSPS)のアジア・アフリカ学術基盤形成事業に「グローバル化時代のアジアにおける新たなダイナミズムの胎動と産業人材育成」研究交流事業を中核。2008年から3年間をかけ、アジアの産業育成、人材育成支援に向けた大学のネットワーク形成に取り組み、韓国削減と持続的発展を目指す。

具体的には、(1)国際共同研究、(2)学術ネットワークの構築、(3)若手研究者の育成、(4)国際フォーラムやセミナーの開催、(5)政策提言、(6)ネットワークを活かした国際貢献——を実施。単なる研究に終わるのではなく、その成果を活かす、「リサーチ&アクション」がモットーだ。

09年度は、「開発のためのアジア学術ネットワーク(Academic Network for development in Asia : ANDA)」を構築。11カ国の拠点大学を結び、共同研究や学術交流を推進した。「今まで研究者個人間の国を越えた交流はありましたが、あくまで大学と大学の間の“線”の交流に留まっていた。その“線”のつながりをネットワーク化することにより“面”にしていくことがこの取り組みの最大のポイントです」と話すのは、名古屋大学大学院国際開発研究科の岡田亜典教授。社会科学・開発系の大学連携は、アジアでは初のイニシアティブだ。



国際セミナーに出席した各国大学の研究者



アジアによる、アジアのための開発

ネットワークの目玉が各国大学の研究者が集まり毎年開催される国際セミナー。今年は11月8日から3日間、カンボジアの国立プノンペン大学で開催され、11カ国から約90人の大学関係者や研究者が集まった。セミナーでは、経済のグローバル化が進む中で(1)国際分業再編の影響、(2)社会経済構造の変化、(3)必要とされる産業および人材の育成——について議論された。さらに若手研究者育成の観点から大学院生による研究発表の機会も提供。他国の大学との貴重な交流の場となっている。このネットワークはもう一つ重要な意味を持つ。それはアジアの大学による開発研究。従来、開発研究は欧米の大学が主だった。アジアの研究者によるアジアのための開発研究を進める。

「この連携のカギとなったのは、アジア中に散らばる名大の卒業生」と岡田教授。中には政府で国づくりに携わっている卒業生や、大学の教員になっている卒業生も多く、連携に協力してくれた。「日本人の開発人材育成も大切ですが、途上国でコアとなる人材の育成も欠かせません」。深層としては事務局スタッフの不足を挙げる。多くの大学では人手が足りず、連携促進のための体制作りが必要不可欠だ。事業自体は2011年度で終了するが、せっかく構築したトップレベルの大学が集まるネットワークを活用しない手はない。今後も名古屋大学がイニシアティブをとり、ネットワークを維持・発展させるための継続的な資金確保に努め、各国の援助機関の協力を得るなどしながら活動を継続する考えだ。日本主導の全く新しい仕組みが、動き出している。

The JSPS AA Science Platform Program

***“Skills Development for the Emerging New Dynamism
in Asian Developing Countries under Globalization”***

Academic Network for Development in Asia (ANDA)

[Home](#) | [Forum](#) | [Photo Gallery](#)

Main Menu

- [Outline of the Project](#)
- [Objectives of the Project](#)
- [Core Member Universities and Cooperating Universities/Institutions](#)
- [International Joint Research](#)
- [Academic Network for Development in Asia \(ANDA\)](#)
- [Academic Exchange](#)
- [ANDA International Seminars](#)
- [Publications](#)
- [Forum/Dialogues](#)
- [Link](#)
- [Photo Gallery](#)
- [Contact Us](#)

News & Topics



28/12/2009

The Second ANDA International Seminar on January 8–10, 2010

The Second ANDA International Seminar will be jointly organized by GSID, Nagoya University and the Royal University of Phnom Penh on January 8–10, 2010 in Phnom Penh, Cambodia. Click below for the seminar program and the poster/flyer.

[<Program \(4,487KB\)>](#) [<Poster/Flyer \(203KB\)>](#)

13/11/2009

The JSPS Exchange Program for East Asian Young Researchers

The Graduate School of International Development (GSID), Nagoya University has been awarded a research grant from the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) for its academic exchange program on “Building Research Capabilities of Young Scholars for Asian Development through the Academic Network for Development in Asia (ANDA)” (Coordinator: Prof. Aya Okada). This exchange program will grant a fellowship to a total of 16 young scholars from

Main Menu

- [Outline of the Project](#)
- [Objectives of the Project](#)
- [Core Member Universities and Cooperating Universities/Institutions](#)
- [International Joint Research](#)
- [Academic Network for Development in Asia \(ANDA\)](#)
- [Academic Exchange](#)
- [ANDA International Seminars](#)
- [Publications](#)
- [Forum/Dialogues](#)
- [Link](#)
- [Photo Gallery](#)
- [Contact Us](#)

List of Coordinators

Coordinators of 11 Core Member Universities



Aya Okada, Graduate School of International Development,
Nagoya University, Japan



Chalaiporn Amonvatana, Faculty of Economics, Chulalongkorn
University, Thailand



Nanang P. Megasejati, Faculty of Social and Political Science,
Gadjah Mada University, Indonesia



K. Narayanan, Department of Humanities and Social Sciences,
Indian Institute of Technology, Bombay, India



Moon Wanki, Department of Food and Resource Economics, Korea
University, Korea



Viengvillay Thiangchanhxy, Faculty of Law and Political Science,
National University of Laos, Laos



Toh Mun Heng, Department of Business Policy NUS Business
School, National University of Singapore, Singapore



JSPS Exchange Program for East Asian Young Researchers
"Building Research Capabilities of Young Scholars for Asian Development through
Academic Network for Development in Asia (ANDA)"
Graduate School of International Development, Nagoya University





JSPS Exchange Program for East Asian Young Researchers

*“Building Research Capabilities of Young Scholars for Asian Development through
the Academic Network for Development in Asia (ANDA)”*

Graduate School of International Development, Nagoya University



































is a Probit regression of the outward FDI from
 γy
$$(\cdot) = \Phi(\lambda_y + \zeta_y + \zeta_y + \rho_y - k\varphi_y + \eta_{yt})$$

is a nonlinear least square of the outward FDI
country y .
$$\zeta_y + \delta + \ln(\exp(\beta_{out} + \tilde{\theta}_{out}) - 1) + \beta_{out} \tilde{\theta}_{out} + \epsilon_{out}$$

$$(\tilde{\rho}_{out})$$

Substituting $\tilde{\rho}_{out}$ into inverse Mill ratio







Q1. What have we learned in this program?

•Lectures

1. Power point and communication lectures were very useful
2. Spectrum of research and activities in GSID

•Seminar Series

1. Got a chance to discover the variety of research fields undertaken by fellow participants
2. Learned different methodologies and techniques of research

•Field Trips

1. Toyota Visit
 - Importance to Technology and Technology Management in Japan
 - Continuous improvement



